

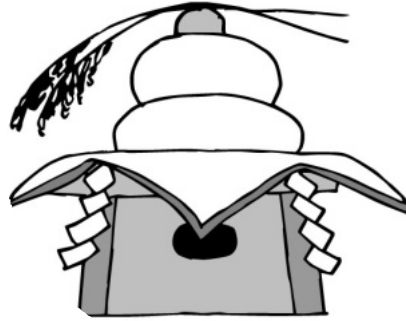
今年、高野山が開創されて一千二百年の記念すべき年を迎



住職による打ち初め

当山の除夜の鐘が厳かに響き渡り、平成27年乙未歳の静寂な新年を迎えることが出来ましたが、二日、三日の二日間は珍しく雪に覆われ雪掻きに追われるお正月で御座いましたが、年頭に当たり檀信徒皆さんのご多幸と無事平安を心からご祈念を申し上げます。

謹賀新年




東方山安養寺

法華宗真言宗 安養寺門跡の檀越会

第36号
平成27年
1月12日

えること相成りました。高野山に於かれましては、今年の四月より大法会が一ヶ月渡り開催されます。



元旦のお授け風景

お大師さまは若き頃、仏法の真髓を求めて唐の都長安に渡り、師の恵果和尚より「遍照金剛」の号を賜りました。遍照とは真言宗の根本のご本尊である大日如来をあらわしています。私たちが日々「南無大師遍照金剛」とお唱えして、親しくお大師さまに帰依し、救済を願うみこころの原点はここにあります。この号を得た由来は「御請来目録」にあるが如く、お大師さまが惠果和尚より灌頂を授けられたとき、曼荼羅に投じた花が二度も大日如来の上に落ちた事実によるものです。

大日如来は全宇宙の生命の根源であり、「南無大師遍照金剛」と御宝号をお唱えすることは、大日如来と一体となったお大師さまの御徳がかがやき、大きな功德となつて遍く照らし、私たちに降り注がれるであります。

真言宗
弘法大師 8ヶ所靈場
東方山安養寺
520-3015
栗東市安養寺88
Tel 077-552-0082
Fax 077-552-9151
URL
touhouzan-anyouji.com
E-mail
to-anyouji@nifty.com

「有り難や高野の山の岩陰に大師はいまだ在しますなる」(弘法大師御詠歌第一番) お大師さまの誓願は、この世に永遠に留まつて人々を救済する利他の菩薩行を続けるということにあります。そのお大師さまの開創一千二百年大法会に、当山の本山であります総本山泉涌寺の管長さまも四月二十日に御導師をお勤にめなります。高祖弘法大師の御恩徳に浴する またとない機会に、別記の通り参拝致したく思いますので是非ともご参加くださいますよう此の段、御案内を申し上げます。

尚、来る三月二十二日からの恒例の四国八十八カ所巡りにもいつも通り高野山にも参拝させて頂きますので合わせて御考察の上ご参加を重ねてお待ち申し上げます。 合掌



観音堂から見る薬師堂



客殿から庭園を望む



薬師堂



檀家のお子様も一緒に



住職による初撞きです



檀家の親子様も仲良く一緒

新年に向けて
鏡餅の餅つき風景

「これから行事」案内

二月三日(火) 午後一時より
星祭節分会 於観音堂

星祭というのは年の変わり目にその年のあたり星を祭って悪い年は悪事災難を免れるよう、また善い年は一層善くなるよう祈るのであります。皆さん揃って今年の無事幸福を願いに参りましょう。

三月二十一日(祭) 彼岸中日
午前十一時より 於観音堂

春季彼岸会法要

於観音堂

三月二十三日、三十一日
第三十七回本四国八十八カ所霊場巡り

募集中 一月三十一日まで

費用は十六万円



四月十九日・二十日
高野山開創千二百年記念大法会団参

高祖弘法大師の御恩徳に欲するまたとない機会です。御座いますので、是非とも檀信徒の皆様方にはご参拝をお願いします。



特別
平成乙未歳正月鏡餅

吉長	羽後	窪田	村上方	四上	滝	宮崎	山上	岩崎	上村	平井	金井	佐武	時岡	田口	大角	加賀	川村	後藤	野玉	田中	久木	高岡	高尾	長岡	石井	湯浅	岩元	俊子		
幸夫	富美子	啓子	イト	隆彦	敏彦	藤子	高治	皓二	寛	順廣	万平	金二	秀男	光雄	光住	多江	千恵子	幸和	伊勢雄	茂光	伊勢雄	保子	保三郎	保三郎	保三郎	保三郎	保三郎	保三郎	保三郎	保三郎

大

松島	西津	榎原	山田	青木	浅野	河野	田村	貝原	森	村岡	晶貴	大西	加藤	平藤	山口	山本	林	利藤	宇野	福野	西川	瀬川	西尾	細谷	福本	細川	山本	有友	中西	木寺	小松	有馬	中川	堀内	八木	田邊	栗田	横山	吉津	松田	一坪	久保
英三郎	正夫	善美	孝司	俊行	優	重雄	雅光	光敏	春江	昌彦	正己	正信	房子	恒美	久美	美照	方貞	洋一	悦子	富子	重雄	純一	卓爾	経子	忠孝	順孝	喜久子	新次郎	攸一	民哲	哲	智子	芳春	悦代	夕子	俊一	英雄	政昌	義勝	徹夫	正之	

中

大片	秋山	衣川	城山	石原	福家	末武	影本	大西	若林	鏡原	岩谷	中戸	田上	尾上	杉本	原川	合田	坂元	有藤	落田	坂口	矢代	本郷	安田	宇田	岡田	桑山	川人	里内	久木	小濱	鉤	吉廣	龜田	中西	秦	中本	兵井	西	守武	鈴木
心介	啓介	千鶴	俊成	嗣雄	義弘	隆成	徹	清美	宗一	彰	一裕	清	隆生	美榮子	二朗	博善	俊英	貞徳	一己	亨	善行	眞佐博	みちる	昭	美佐子	敏広	由喜子	比佐夫	勇次	道夫	正行	宗雄	恵里子	勝代	節子	一雄	謙二	康久	秀功	政人	

小

金栗	梅坂	丹下	大野	福井	金沢	若枝	芳野	桑山	細谷	中村	吉羽	土井	森
路子	只七	三郎	篤則	直	登志子	利美	忠男	昌治	博史	卓爾	諭	弘子	貞子

沢山の檀信徒さまからご奉納戴き御本尊様初め境内におられます仏様にご奉納させていただきます。有難うございました。合掌



除夜の鐘に大勢来られ無事息災を祈念されていました